

「常陸大宮市地域公共交通網形成計画(案)」のパブリックコメント実施結果

市では、公共交通を取り巻く課題を解決し、地域の実情にあった持続可能な地域公共交通網を構築することを目的とした「常陸大宮市地域公共交通網形成計画」の策定にあたり、市民の皆さんよりご意見を募集しました。

募集結果等について、次のとおり公表します。

なお、意見募集実施後に策定した常陸大宮市地域公共交通網形成計画については、市HP、または本庁企画政策課、各支所で閲覧できます。

○意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成30年2月10日(土)～平成30年3月11日(日)
- (2) 意見の提出件数 2件
- (3) 意見の提出方法 FAX 2件

○意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	意見のタイトル	意見の内容（原文のまま掲載）	意見に対する市の考え方
1	従来の市民バスの地域内循環線を廃止しないでほしい。	<p>諸沢、北富田地区(特に山間部)の場合、駅、店、病院などが山方地区にあり、従来の地域内循環線を利用することが多いと思われる。</p> <p>乗合タクシーだと、高齢者世帯では予約手続きなどが煩わしいのではないかと。(私も過去に親の介護で利用したことがある。)また、買い物の帰りに荷物をもっての同乗は気兼ねしてしまうとの意見も聞く。そのため、市民バスで出掛け、帰りはタクシーでという方がいるくらいです。また、所要時間も不確定になる。</p> <p>“空”で走って勿体ないという話を聞くが、“空”が許されるのは公共交通ぐらいです。コストパフォーマンスも理解できますがこの過疎地域でそれを望むことは難しいです。すべて廃止するのならわかりますが、この地域だけでも残していただきたいです。ただし、コストカットについてはできる限り検討することは必要だと思います。(減便、コースの見直しetc.)</p> <p>この意見は地区の総意ではありません。(一部聞き取りはありますが)ご了承ください</p>	<p>公共交通につきましては、これまでも効果的・効率的な運行を目指し、利用状況やアンケート調査をもとに見直しを行ってまいりましたが、人口減少・少子高齢化の進行や限られた財源の中で、今後も公共交通を維持していくために、本計画において、『いつまでも誰もが安心・便利に利用できる公共交通』を基本方針に掲げ、公共交通を一体的に見直したうえで、持続可能な地域公共交通網の構築を図ることとしております。</p> <p>本計画では、再編の方向性として、市内全域に住居が分散している本市の地域特性を踏まえ、乗合タクシーを軸に公共交通の再編をすとしたうえで、利便性と効率性を考慮して各公共交通の適正な役割分担を図り、地域公共交通網を構築することで財政負担の削減にも努めるとしております。</p> <p>このようなことから、公共交通における各地域内の移動手段については、市民バスから、乗合タクシーが担うこととなりますので、山方地域を含む大宮地域以外の地域においては、乗合タクシーの運行本数を増やすことで移動手段を確保するとともに、これまで市民バスをご利用いただいていた方が、安心して乗合タクシー等をご利用いただけるよう、利用者にとって身近な地元区長や民生委員等と連携しながら、各公共交通の利用方法はもとより、実際の利用例などのきめ細かな情報提供を行うなど、快適な利用環境づくりを推進することで、誰もが利用しやすい安心・便利な公共交通の構築に努めてまいります。</p>
2	福祉タクシーの利用範囲を拡大、できれば、補助率をアップしてほしい。	<p>「福祉タクシー券を利用して、医療機関への通院や、市内の公共施設を利用するためにタクシーを利用した時の一部を助成するサービスです。」となっていますが利用範囲を緩和できないでしょうか。また補助率を上げてほしい。</p> <p>利用対象者 福祉タクシー券の交付対象者は下記のいずれかに該当するものである。 ・ 運転免許返納者などを含む交通弱者。(追加)</p> <p>利用範囲 以下の施設を利用するときのみ福祉タクシー券を利用できます ・ 運転免許返納者などを含む交通弱者については上記(医療機関や公共施設)以外でも可能とする。(追加)</p> <p>補助率アップに関しては、是非ご検討をお願いいたします。</p>	<p>本計画では、福祉タクシーの公共交通としての役割を、『自由な時間帯とエリア制限のない移動に対応できる交通手段として、路線バス、市民バス、乗合タクシーなどの交通手段を補完。』としており、また、施策⑤「利便性を考慮した運行サービスの提供」の取組⑤-2「高齢者にやさしい公共交通サービスの提供」において、『ほかの交通モードの役割分担を勘案したうえで、サービスの内容の見直しについて検討します。』としておりますので、ご意見の利用範囲の拡大等につきましては、今後、他の公共交通との役割分担や財政負担などを勘案したうえで、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、65歳以上の運転免許返納者に対しましては、すでに乗合タクシーの利用券や路線バスのICカードを配付するなど、外出支援を行っているところですので、このような取組などにより公共交通を一層利用していただけるよう、誰もが利用しやすい安心・便利な公共交通の構築に努めてまいります。</p>